

FCV モニターレポート



新潟市では令和元年9月から12月の期間中に、地球温暖化防止のための賢い選択を呼びかける、新潟市 COOLCHOICE 推進事業を実施しました。

2019年は新潟市内に水素ステーションが完成するなど、燃料としての水素を身近に感じることができるようになりましたが、FCV がどのような仕組みで動くのか、また乗り心地や走行性などを、より知っていただくため、新潟市内の事業者を対象に FCV 通勤移動モニターを実施しました。

ここではモニター事業者の皆様のアンケート結果をご紹介します。

●モニターご協力事業者

モニター1	株式会社 BSN アイネット	【令和元年9月30日(月)～10月4日(金)】
モニター2	新潟市ハイヤータクシー協会	【令和元年10月7日(月)～10月11日(金)】
モニター3	青木環境事業株式会社	【令和元年10月21日(月)～10月25日(金)】
モニター4	株式会社クーネルワーク	【令和元年10月28日(月)～11月1日(金)】
モニター5	旭カーボン株式会社	【令和元年11月11日(月)～11月15日(金)】

ご協力いただきありがとうございました。

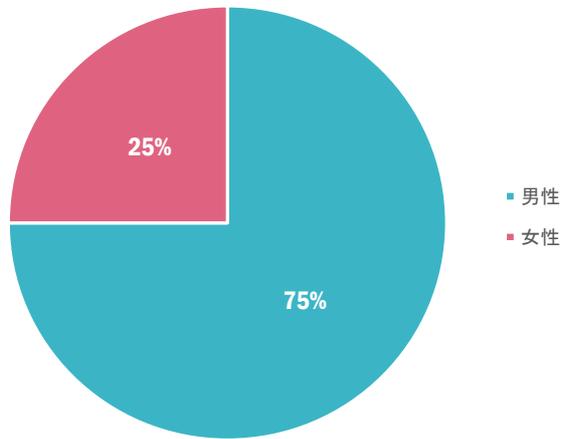
※回答数値単位はすべて(人) / 自由記述回答は抜粋掲載

●アンケート結果概要

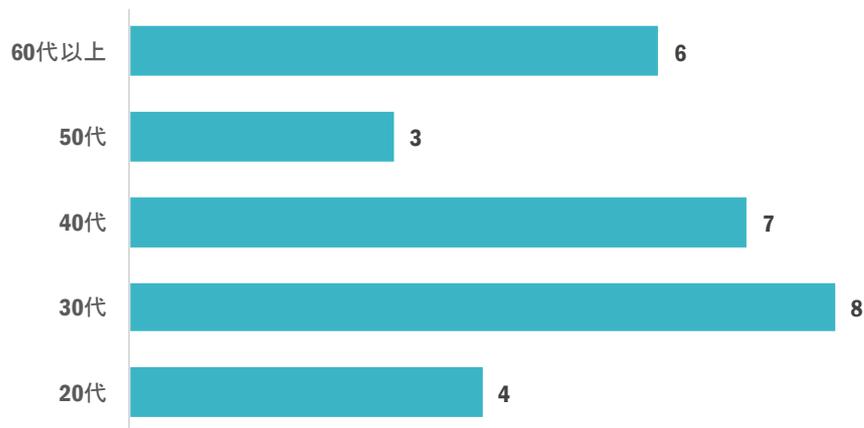
- ・令和元年9月から11月の期間、新潟市内の5事業者、合計28名に燃料電池自動車（FCV）トヨタMIRAIを活用していただきました。
- ・3分の2の方は参加前から「FCV」という名称を知っていて、「環境にやさしい」「高額」「力がないのでは」といったイメージを持っていました。
- ・モニター期間中は、通勤や業務、普段使いでFCVを活用していただきました。使用後の感想では、「乗り心地が良い」「静か」「運転が楽」「加速がスムーズ」といった声が多く、エンジンを搭載せず、モーターで駆動するFCVならではの快適な走行を体感していただくことができました。
- ・FCVモニターにより、半数の方は、排気ガスによる大気汚染や二酸化炭素の排出削減など、環境問題に対する意識の変化がありました。「車の買い替えがエコにつながることを認識した」「現在所有する車で環境配慮をできる範囲で行おうと思った」「未来の子供たちにきれいな地球を残すために、ぜひ普及してほしい」との回答がありました。
- ・個人でのFCV・EVの購入意向については、ガソリン車と比べて高額であることや、充電、水素充填のインフラに不安があることから、価格が下がり、車種が増えれば選択肢になるといった回答でした。
- ・社用車としての導入に関しては、社員の環境への意識向上のために賛成する人もいましたが、一方でメンテナンスへの不安や燃料切れの恐れなど、使い勝手がよくないため反対という意見もありました。
- ・今後のFCV普及に関しては、「水素ステーションを増やしてほしい」「車両価格をガソリン並みに」という意見が多かったほか、EVやPHVに対するFCVの優位性がわかりにくいとの意見がありました。

● アンケート回答者・・・モニター5社 計28名

<性別>



<年代>



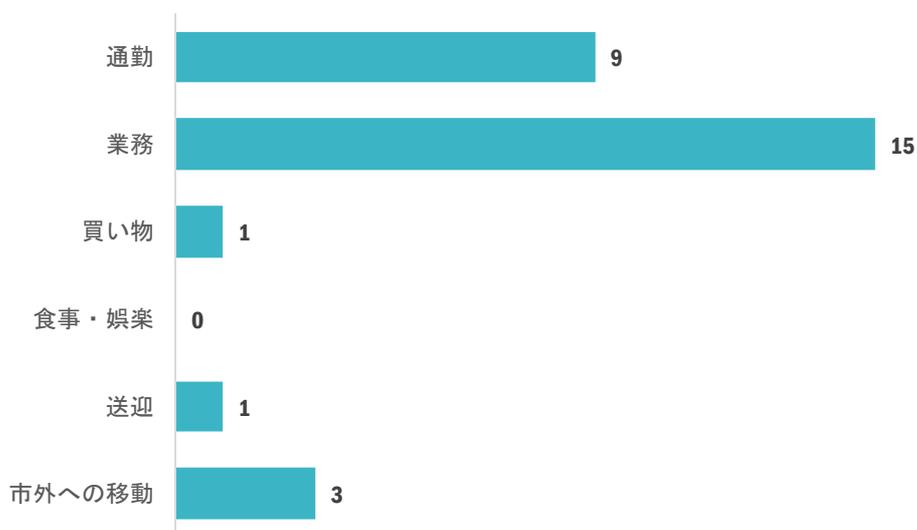
Q1 モニターに参加する前からFCVについて知っていましたか



Q2 モニター使用する前のFCVに対するイメージを教えてください。

- ・ 有害物質を排出しない、環境にやさしい車
- ・ 先進的な技術であり、水素の生成に二酸化炭素の発生が抑制されれば温暖化対策の一端を担える車
- ・ 静かで、燃費がよくて走りが軽やか
- ・ 電気自動車的一种
- ・ 高額で購入が難しく、特定の方しか乗ることができない
- ・ 水素ステーションが少ない
- ・ 長距離走れない
- ・ 力が弱くて加速や高速運転に難がある
- ・ エコなので、スピードが抑えられている
- ・ FCV という名前を知らなかったが、ミライという車種は水素で走る車としてニュースなどで知っていた

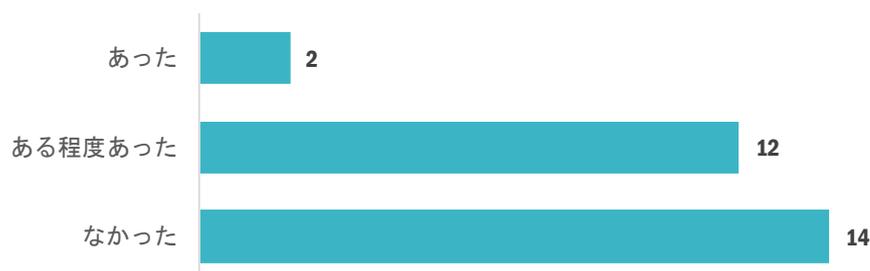
Q3 モニター車をどのような用途で利用されましたか (複数回答可)



Q4 FCV を使用してみて「いいな」と思ったところを教えてください

- ・アイドリングがとても静かであった
- ・スムーズな走りだしが良い
- ・坂道・平坦な道で加速度合いに差がない、始動時や走行時の音が静か
- ・重厚感と剛性が感じられるのに街中での取り回しや加速に好感が持てた
- ・シートの座り心地がすばらしく、長時間のドライブも疲れなさそう
- ・ハンドル操作が軽く、運転が楽
- ・安定感があって走りやすい
- ・燃費が良い。長岡から新潟を往復してまだ半分以上燃料が残っている
- ・排ガスのにおいがしない
- ・きっと二酸化炭素排出量の削減につながったのだろうなと思えたことが良かった
- ・二酸化炭素を排出せず、環境に負荷を掛けていないという満足感

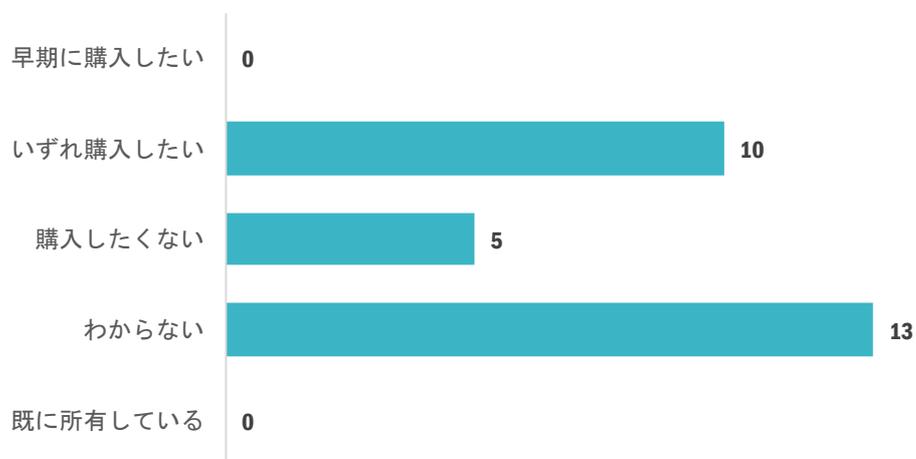
Q5 FCV を使用してみて、環境への意識の変化はありましたか



■ 「あった」「ある程度あった」を回答した人は、どのように意識が変化しましたか

- ・ 大気汚染の原因となる二酸化炭素はできるだけ削減しなくてはならないと再認識した
- ・ 排気ガスが一切出ないことを実感し、未来には FCV が走行する世の中になると思った
- ・ 排気ガスがどれほどの影響を与えているのかについて考えるようになった
- ・ この車に乗ったことによって、車を買換えることでもエコに繋がると認識できた
- ・ エコが身近に感じられた
- ・ CO2 を排出しないということで、環境負荷を意識できた
- ・ 業務上でも環境対応があるので常に意識はしていた
- ・ 購入してみたくなった。動作中も音が静かなので周囲の音がよく聞こえた
- ・ 現在所有している車で環境配慮を出来る範囲で行おうと思った
- ・ わずかな取り組みでも二酸化炭素排出量の削減は可能なことを実感できた
- ・ すぐに広く普及させるのは難しいかもしれないが、未来の子どもたちに綺麗な地球を残すために、ぜひ広がってほしいと思う

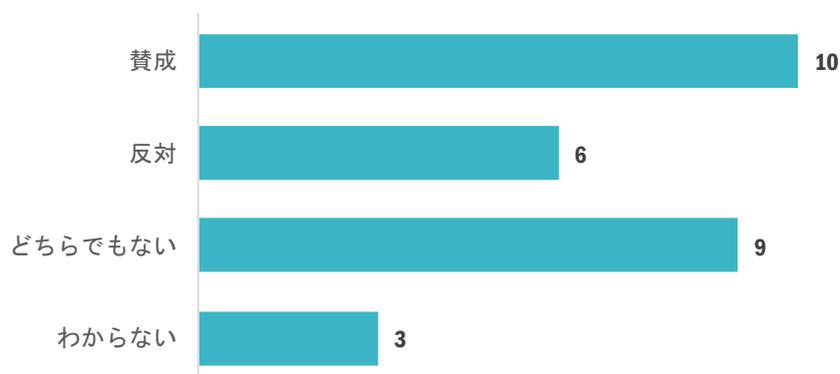
Q6 個人として、FCV や EV（電気自動車）の購入意向について教えてください



■今後どのような制度や価格、車種があれば購入を考えますか

- ・車両価格・燃料価格・維持費が安くなったら
- ・購入時・使用時の補助制度があれば
- ・車種が増えたら（軽自動車サイズ、コンパクトカー、5ナンバーサイズ）
- ・(EV に関して)充電場所が充実し、短時間での充電が可能になったら
- ・(FCV に関して)水素ステーションが増えたら

Q7 職場の社用車として導入検討するにあたり、あなたの意見を教えてください



■ その理由を教えてください

<賛成>

- ・会社・社員の、環境に対する意識改革
- ・企業として環境に意識しているというアピールになる
- ・環境負荷軽減につながるから
- ・場合によっては製造で副生成される水素や余剰電力を有効活用できるかもしれないので

<反対>

- ・様々な人が種々の目的で使用する社用車としては、後部座席が狭すぎる
- ・価格、メンテナンスに不安がある
- ・社用車であれば、安全に走れば十分だが、場所が少ないと営業に行った時に困る。特に新潟は土地が広いので、行く先々にステーションがないと不安になる

<どちらでもない>

- ・業務車両としては、少し大きすぎる
- ・多様な場所に駐車することを考えるとコンパクトカーの方が運用に向いている
- ・オイル交換などの作業減少は魅力だが、故障が出たときに対処しにくい
- ・導入すれば、会社のイメージアップにつながると思うが、水素ステーションが県内に1か所しかなく、少し不便を感じる
- ・社用車には価格が高すぎる

Q8 FCVの普及に向けて改善してほしいところや気づいた点について教えてください

(水素ステーションに関する回答)

- ・ 1 充填で 500km 走行可能なのは魅力だが、遠方へ移動する機会での水素ステーションの位置、営業時間が心配。また、外出先でのトラブル（水素切れ）ではどのように対処して良いか不安
- ・ 水素ステーションを増やす必要があると思う
- ・ 水素ステーション自体が新潟近郊、隣県に少ない
- ・ 既存のガソリンスタンドに水素ステーションを追加すればよいと思う

(車両に関する回答)

- ・ 車両が静かなので、走行中、路面が悪いと音をひろってうるさい
- ・ あまりに静かなので、自転車や歩行者の近くを走るとき、車に気づかれていないのではないかと普段より緊張した
- ・ EV、PHV との明らかな優位性、利便性がないと消費者の検討に至らないと思う
- ・ FCV を所有した際のメリットが分かりにくい
- ・ 車両トラブルが起きた時・メンテナンスが必要な時に対応できる整備士、工場も限られていると思う
- ・ もっとグレードの低い FCV を製造して、デモ車を多くの人に試乗してもらおう。現状ある FCV では高グレードのため、乗り心地など静かさなどが一般車両と比べられない
- ・ 普及させたいのであれば、手を伸ばせる価格帯にすべき
- ・ 車両価格をガソリン車並みに
- ・ 燃費の改善
- ・ 環境に非常に良い車であり、今後は様々なニーズに応えられるよう、車内を広く使える仕様の車の導入をお願いしたい

●モニターの様子

